

現地に行きました！

県管理の地区要望箇所、県に現況説明と要望を

現地集合して**午前の部**を！

スタート地点の県道339号道路拡幅要望箇所に集合（出口）



しだの川の河川改修土砂取り除きを（上田の口）



県道大方大正線改良箇所を（蜷川）

例年通り、全員が佐賀庁舎で意見交換をしながらの昼食を済ませて…。

住宅の裏山の治山砂防を（拳ノ川）



現地視察の終了後、佐賀支所にて、県幡多土木所長から回答を頂き、詳細は担当者レベルで詰めて行くことに。県の前向きな取り組み姿勢が感じられた現地視察となりました。

今年度も、町内各地区よりの要望の内、県が所管する箇所について、10月2日（月）に県の担当者、町職員と共に要望箇所72力所の内、17力所に出向き、現況の説明や改善に向けて、より一層の働きかけを行いました。

新規での要望や、緊急性の高い箇所を重点的に視察しましたが、最近の危険性が高いゲリラ豪雨に伴う河川の氾濫対策の土砂の取り除き要望が多く、排水対策など緊急性が高い要望が多い状況でした。

産業建設厚生常任委員会

委員長 濱村 美香

午後の部を！



伊与木川の砂利撤去を（上分）



県道の拡幅、横断側溝整備を（市野々川）